

336A地区



2R-47

西条

SAIJO LIONS CLUB



2008年1月号

No. 370

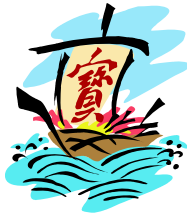


清祓いの儀 厳かに



2007~2008 年度

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 国際会長プログラム | 「変化への挑戦」(Challenge to Change) |
| 336A 地区がバナーズ知-ガン | 「ライオンよ、熱き想い・強い絆でウィ・サーブ」 |
| キーワード | 「情熱・感動」 |
| クラブ会長スローガン | 「心を拓いて奉仕の輪」 |
| キーワード | 「チャレンジ」 |



新春のご挨拶

(心を拓いて奉仕の輪)

会長： 野田明利

新年明けましておめでとうございます。平成節目の年、平成20年がスタートいたしました。昨年は各委員会が各々の事業において力強いご指導ご協力ありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年はわが国においては、年金問題、有名企業の偽装問題など私達の信頼を裏切ること終始したように感じております。また世界に目を向ければ、地球温暖化の影響からか、災害の年でした。本年は、災害のない信頼のある社会になればと思っております。昨年わがクラブにおいては、「心を拓いて奉仕の輪」の会長スローガンの基、国際平和ポスターの応募、各スポーツ大会への支援、少年軟式野球大会の昼食カレー作り、早朝清掃奉仕、施設慰問もちつき奉仕については、奉仕の精神で力強く取り組み実りあるアクティビティになりました。また救命救急士の講習には39名参加をいただき会員の知識のレベルアップが図られたと思います。また早朝清掃例会・年末家族会において純出席100%を2度達成いたしました。特筆事項としては、新年早々2名の新会員増強と合せて6名の新会員増強となる予定です。これは近年にない会員増強になると思います。これも先輩ライオンの培われた歴史と伝統が、そうさせたものと思っております。

これは西条クラブの今後の発展と飛躍が、図られるものと思っております。これから残り6ヶ月、新規のアクティビティが目白押しです。悔いの無いように精一杯頑張っていきたいと思っております。会員各位のご指導ご協力をお願いし、又本年、皆様のご多幸とよい年であります様にお祈り申し上げます、年頭の挨拶と致します。





国際平和ポスターコンテスト表彰式

青少年指導委員 國田経仁



何十年ぶりかと思われる大雪のまだ解けきらない寒く冷たい風の吹く早朝より、神拝小学校へ、平和ポスターの入賞児童へ賞状伝達並びに参加賞の授与に行ってまいりました。例年とちがい、年越しでの冬の伝達式だったせいか、体育館に集まった児童並びに私たちも寒さで固くなっていましたが、野田会長は【ライオンズ精神】について非常に熱く語っていたのが印象的でした。年に1回だけの、それも数十分間だけの地道な活動ですが、子供達に西条ライオンズクラブの名前や活動について知ってもらうという点では、非常に貴重な事業だと思います。



CSF II 感謝状



CSF II キャンペーンへの深甚なる協力に対し、ジミー・ロス前国際会長・LCIF 委員長 テーサップ・リー元国際会長・CSF II 委員長連名によるクラブ献金達成感謝状が届きました。

●クラブ献金額（～2007年12月末まで）

\$ 27,111

2005-2006 年度に申請したモデルクラブ誓約金額は、会員48名で、\$24,000 でした。

【 悲願の初優勝 ～1月ゴルフ部定例会～ 】

L. 真鍋信彦

今年初めてのゴルフ部定例会が、1月6日(日)に新居浜市の滝の宮カントリークラブにて行われ、幸運にも優勝することが出来ました。私にとっては初優勝で、メンバーに恵まれたのは勿論ですが、1月とは思えない程の暖かさで、風も無い絶好のコンディションであったのが幸いし、グロス79、久しぶりに70台の好スコアでラウンドすることができました。私の最大の弱点はパッティングなのですが、この日はグリーンとの相性がとても良く、強気のパッティングが好果に繋がったのだと思います。兎も角、新年早々の優勝で気分は最高、今年が良い一年になりそうな予感がします。遼君のようにプロ転向は無理ですが、シングルプレーヤーを目指し精進し、定例会にもできるだけ参加し、多くの方と楽しくプレーしたいと思います。

今年もよろしくお祈りしまチュー。





新年例会清々しく開催

会員の健康と安全・ウィ・サーブを祈りて

L. 十亀興美



「1年の計は元旦にあり」と、平成20年戊子（つちのえ・ね）の新玉の年を迎え西条ライオンズクラブでは去る正月8日、恒例の新年例会を開催・特に新年年頭につき会員の健康と安全を願って清祓式を執り行い、我が故郷の山・霊峰石鎚の霊氣を拝し、会員夫々の産土（うぶすな）の神々に、野田明利会長が代表して玉串を捧げ、会員一同これにあわせて新年の加護を祈った。次いで本年、米寿及び還暦を迎えたライオン、又子年（ねどし）に当る年男が順次拝礼し、石鎚神社にて拝受の祈願札とエト守が会長より手渡され祝福を受けられた。

次いで野田会長が新春年頭の祝辞に、会員一つ心に社会奉仕に尽くそうとの力強い挨拶があり、祝盃をあげて新年を寿ぎお祝い申し上げた。

古来より日本人は、太陽や月・空気や水・山川草木や大地等、自然の恩恵によって生活ができ、生かされているところから、全てのものが神様のはたらきと感謝して八百万（やおよろず）の神々をまつてきました。

特に新年を迎える時、よき年を願って正月縁起飾りが行われる。注連縄（しめなわ）を神棚や玄関にとりつけ、新年の神様である歳徳神（としとくしん）をお迎えし、橙（ダイダイ）＝代々栄えますようにと、裏白（ウラジロ）という山草＝裏も表も真白で明々白々、ケガレがないことを表し、一名穂長（ホナガ）とも云い、葉が連なって続く如く子孫の繁栄を祈り、又、譲り葉＝新葉が生長したのを見とどけて古い葉が落ちるところから、親から子・子から孫へと命を正しく継ぐことの願いをこめて注連縄に飾られる。



日本の情緒深き正月の縁起飾りに託す先祖の祈り、子孫繁栄を願ういのち継承への思いに感動である。何はともあれ新年のご多幸を祈るや切！！





会員企業の紹介！

医療法人愛寿会 内田 伸



西条市福武の地に医療法人愛寿会は、昭和48年12月17日に68床の病院として創立されました。背景として、石油ショックによる物価急上昇真っ只中、大変厳しい状況下の船出でありましたが、以来何事も「患者さんの立場に立つ」ことを基本とし、地域における高齢者医療の中核的な拠点として、現在180床の療養型病床群となり、医療・福祉の邁進に努めているところです。創立者（父）は「キャッチボールのできる廊下」を信念とされていたので、周辺の樹木とも合わせゆとりのもてる療養環境かと思っております。この恵まれた環境をフルに活かせるよう、私のモットーとして、『和を保ちつつ、切磋琢磨し、オープンで透明感のある安心度・満足度・信頼度の高い医療福祉施設作り』を掲げ、地域に貢献できるような医療と福祉の融合を目指しています。

併設施設として平成元年6月、老人保健施設「ゆるぎ荘」（55床）を開設し、病院と在宅の中間的施設として在宅復帰に取り組んでいます。また、西条市在宅介護支援センターを開設し、西条市ホームヘルパー派遣事業を開始、その後開設した訪問看護ステーション・通所リハビリ・在宅総合ケアセンターとともに在宅における治療、介護を推進しております。このように、あらゆる面で、高齢者の皆様の拠り所となるよう、総勢320名（愛寿会グループとして）の職員で、支えております。

病院の特徴としては、常勤の音楽療法2名が音楽療法に積極的に取り組み、身体が病んでいても心の元気を取り戻せるよう、また、通常のリハビリはもとより、常勤の歯科衛生士による口腔ケア、排泄ケアへの取り組み、栄養サポートチーム（NST）などの活動を通じて、精神面・身体面共に、尊厳ある快適な療養生活となるよう努めております。また、平成13年7月より、本格的なリハビリプールを開設し、水中運動療法として地域に開放して、老若男女を問わず、大変喜ばれております。平成16年10月、パワーリハビリテーション機器も導入し、生活習慣病（メタボリックシンドローム）、転倒予防、体力改善等に取り組む、さらに敷地内全面禁煙とし、禁煙外来も開設し、各種予防医学にも力を入れております。

このように、きたるべき、超高齢化社会においても、また、国の政策等不安定な世上においても、地域の皆様に常に安心と満足を、ご提供できるよう、地域の各医療機関と連携を図りながら、全力を尽くしてまいりたいと思っております。

一方、福祉事業の展開として、社会福祉法人回生会「特別養護老人ホーム福武荘」（55人）を昭和52年4月開設、その後デイサービスセンター（25人）、軽費老人ホーム「ケアハウス」（30人）、認知性老人共同生活「グループホーム」（9人）開設、逆デイサービス・小規模多機能ホーム開設、平成18年5月、ユニット型特別養護老人ホーム伊予千寿苑（50人）を開設等々、医療福祉とともに地域に貢献できる愛寿会グループを目指しております。

今後とも、皆様の御指導・御高配の程、宜しくお願い致します。



プール



航空写真



全景

あゝ雪の日のこと

2008年1月20日（日）朝から、今年感じたことのない寒さを感じていた。みぞれまじりの冷たい雨が、しんしんと降り続き午後には車の屋根を真白にしていた。

翌朝には、見るものすべてがホワイトカラーになっていた。

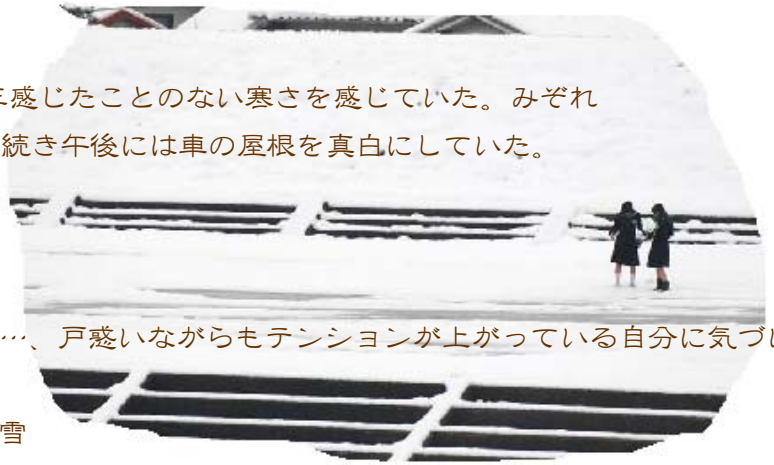
この辺りでこんな景色を見るのは

何年ぶりだろう。車は走るのだろうか…、戸惑いながらもテンションが上がっている自分に気づいた。

子供の頃、雪が降ると手を真っ赤にし
ながら、大人があきれるくらい冷たい雪

と戯れていた。なんだかあの頃の気持ちに少し似ている。

街に出ると、慣れない雪に交通渋滞が起こっていた。なかなか動かない車の中で不安と苛立ちでいっぱいになる。やっぱり雪なんか嫌い…、窓の外に視線を向けると、雪だるまがこっちを見て笑っていた。気がつくともちこちに雪だるまが立っていた。いろんな顔をしている。見ている自分が、やさしい気持ちになっていることにハッとした。



きっと大人も一緒に作ったんだろう、せの高い雪だるま。
みんなを童心にさせてくれる雪だるま、帰ったら作ろう！



*** 皆さんにとってはどんな雪でしたか。寒中お見舞い申し上げます。***

【編集後記】

平成20年になり、はや1ヶ月が過ぎました。ちまたではインフルエンザが流行っていますがお変わりございませんか。昨年は食の偽装が相次ぎ少なからずショックを受けました。そういえば昨年1年間を漢字一文字で表すと【偽】でしたね……。なんとも心が痛みます。

今年も年明け早々から中国の殺虫剤混入餃子問題が発覚しました。便利になることは、忙しい主婦の皆様にとっては良いことですが、安心して安全な食べ物をみんなが食べられるようになるといですね。ある番組のコメンテーターがこんなことを言っていました。「近くのスーパーに行けば、世界各国のおいしい料理が冷凍食品になって手に入る時代ですが、今回の食の安全性について、原産国や業者の責任を問うのもいいですが、自分たちにとって家族の健康を左右する大事な食生活の問題なのですから、自分たちで安全管理をする事も大事ですよ。」なるほど！と思いました。

PR・広報委員 近藤基弘

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ

事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F

TEL (0897) 56-3980

FAX (0897) 56-9251

E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 野田明利
幹事 山本新一郎

PR・広報委員長 野間賢次郎
編集委員 原 育雄 ・ 加藤誠也
村上公明 ・ 徳増達史
近藤基弘

例会日 第1・第3火曜日

例会場 黒猫レストラン

印刷 西条ライオンズクラブ事務局